

問1 香川県を含む四国地方では、本州四国連絡橋の整備によって地域経済や人々の生活が大きく変化しました。1980年代後半以降、香川県への観光客の交通手段が船舶から自動車へと劇的にシフトした最大の要因として、最も適切な記述はどれですか。

(2017年 富山県公立入試 類似)

1. 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が道路で直接結ばれたため
2. 高松空港の整備により、全国からの航空路線の便数が増えたため
3. 瀬戸内海での船舶事故を防ぐため、定期船の運航が全面的に廃止されたため
4. 鉄道の高速化が進み、寝台特急などの利用者が増えたため

問2 東京都中央卸売市場におけるナスの月別入荷量を確認すると、群馬県産が夏から秋にかけて入荷のピークを迎えるのに対し、高知県産は1月から5月にかけて毎月1000トン以上の高い入荷量を示し、夏になると減少するという対照的な動きが見られます。高知県がこのような出荷計画を立てている理由として、最も適切な説明はどれですか。

(2019年 埼玉県公立入試 類似)

1. 他の産地の出荷量が少ない時期に合わせることで、市場価格が高い時期に有利に販売するため。
2. 夏の台風被害を避けるため、あえて収穫時期を冬から春のみに限定しているため。
3. 高知県は夏場の気温が非常に高くなるため、ビニールハウス内の温度管理が不可能になるから。
4. 高冷地の涼しい気候を利用して、他の地域が生産できない冬場に栽培を集中させているから。

問3 瀬戸内地方において、一年を通じて降水量が少なく、温暖な気候になる理由として、地形の観点から説明したものとして正しいものはどれですか。

(2021年 沖縄公立入試 類似)

1. 北の中国山地と南の四国山地に挟まれており、湿った季節風がこれらの山地で遮られるため。
2. 周囲に高い山地が全く存在せず、乾燥した大陸の空気が直接流れ込み続けるため。
3. 日本アルプスのような高い山脈が冷たい北風を完全に遮断し、南からの暖流の影響のみを受けるため。
4. 広大な平野が広がっているため、上昇気流が発生しにくく、雲が発達する要因が乏しいため。

問4 中国・四国地方の政治や経済の拠点である広島市には、国の省庁が設置する組織や、民間企業の支店が数多く集まっています。このような、特定の地域全体を管轄する国の組織を何と呼びますか。

(2016年 群馬県公立入試 類似)

1. 出先機関
2. 地方公共団体
3. 特別区
4. 独立行政法人

問5 1990年代から2000年代初頭にかけての、徳島県と日本全国の小売業の動向について、売場面積の変化から読み取れる共通の背景として最も適切なものはどれですか。

(2024年 京都公立入試 類似)

1. 徳島県と全国のいずれにおいても、この時期に売場面積が増加しており、商業活動の規模が拡大していた。
2. 徳島県では売場面積が急激に減少したが、全国的には2007年まで右肩上がりでも推移していた。
3. 全国の売場面積は1991年から1994年にかけて約100万平方メートル減少しており、徳島県のみが拡大していた。
4. 徳島県では2004年に100万平方メートルを超えたが、2016年の面積は2012年よりも大きくなっており、拡大が続いている。

問6 2022年の統計において、ため池の数が多い上位3県は兵庫県(22,047)、広島県(18,155)、香川県(12,269)となっています。これらの県で共通してため池が多く作られてきた背景として、正しいものはどれですか。

(2024年 大阪公立入試 類似)

1. 年間を通じて降水量が少なく、農業用水を確保するために雨水を貯めておく必要があったため。
2. 標高が高い地域が多く河川の勾配が急であるため、生活用水を確保するダムとの代わりとして整備されたため。
3. 冬の降雪量が非常に多く、春先の雪解けによる洪水を防ぐための調節池として活用するため。
4. 内陸部で大規模な河川が不足しており、工業用水を安定的に供給するための貯水施設が必要だったため。

問7 1988年に岡山県倉敷市と香川県坂出市を結ぶ瀬戸大橋が開通したことにより、本州と四国間の交通事情は大きく変化しました。1985年当時にはフェリーを利用して約120分から160分を要していた移動時間が、現在では自動車や鉄道の利用によって約40分にまで短縮されています。このような交通網の整備が地域に与えた影響として、最も適切なものはどれですか。

(2023年 福岡県公立入試 類似)

1. 移動時間の短縮により、瀬戸内海を挟んだ対岸の都市への通勤・通学者が増加した。
2. 瀬戸内海の各所で大規模な埋め立てが進み、沿岸部すべてが工業団地へと変化した。
3. フェリーの利用者がさらに増加し、港を中心とした新しい商業圏が形成された。
4. 本州からの人口流入を抑えるため、橋の利用が貨物列車の運行のみに制限された。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が 道路で直接結ばれたため	1988年の瀬戸大橋開通は、香川県坂出市と岡山県倉敷市を陸路で直結させました。それまでは船舶による移動が不可欠でしたが、橋の完成により自動車（自家用車や観光バス）で直接四国へ渡ることが可能になり、交通の利便性が飛躍的に向上したことが、観光客の交通手段が変化した直接の理由です。
問2	答え 1 他の産地の出荷量が少ない時期に合わせる ことで、市場価格が高い時期に有利に 販売するため。	野菜の価格は、市場に出回る量（供給）と、それを欲しがる量（需要）のバランスで決まります。群馬県などの露地栽培が盛んな地域からナスが多く出荷される夏場は価格が下がりやすいため、高知県ではビニールハウスを用いて時期をずらすことで、競合が少ない冬から春の高値の時期に収益を確保する戦略をとっています。
問3	答え 1 北の中国山地と南の四国山地に挟まれて おり、湿った季節風がこれらの山地で遮 られるため。	日本の気候は季節風の影響を大きく受けますが、瀬戸内地方は二つの山地に囲まれた盆地のような地理的条件にあります。夏の南東の季節風は四国山地に、冬の北西の季節風は中国山地にぶつかって雨や雪を降らせるため、それらを越えてくる空気は乾燥しており、瀬戸内には雨が少なくなります。
問4	答え 1 出先機関	広島市は広島県の県庁所在地であるだけでなく、中国・四国地方全体をまとめる役割を担っています。このような都市には、国の各省庁が業務を分担するために設置する「出先機関」や、企業の「支店」が集中します。これらは、その地域における行政や経済の管理・調整を行う重要な機能を果たしています。
問5	答え 1 徳島県と全国のいずれにおいても、この 時期に売場面積が増加しており、商業活 動の規模が拡大していた。	徳島県では1991年から2004年にかけて面積が増加し、全国的な統計でも1991年の約117（百万平方メートル）から1994年の約125（百万平方メートル）へと増加しており、さらに2007年まで右肩上がりの傾向が続いていました。このように地方と全国が共通して、一定期間にわたり小売業の施設規模を拡大させていたことがわかります。
問6	答え 1 年間を通じて降水量が少なく、農業用水 を確保するために雨水を貯めておく必要 があったため。	瀬戸内海に面した兵庫県、広島県、香川県などは、中国山地や四国山地に阻まれて雨が少ない「瀬戸内の気候」に属しています。特に稲作が盛んな地域では、夏場の水不足が深刻な問題となるため、古くから雨水を蓄えておく「ため池」が数多く作られ、農業用水として利用されてきました。
問7	答え 1 移動時間の短縮により、瀬戸内海を挟ん だ対岸の都市への通勤・通学者が増加し た。	瀬戸大橋の開通によって、本州と四国の間が陸路で結ばれ、移動手段が従来のフェリーから自動車や鉄道へと変わりました。これにより移動時間が大幅に短縮され、岡山県と香川県の間で県境を越えて通勤や通学を行う人々が増えるなど、地域間の結びつきがより密接になりました。